

断面がきれいな巻き寿司

～3月女性営農生活講座～

3月上旬、本店で3月の女性営農生活講座を開きました。新型コロナウイルス感染防止対策のため4回に分けて、デコ巻き寿司作りを行いました。

アトリエApricotの梅村里美さんが講師を務め、敷いた海苔の上に酢飯や錦糸卵、明太子などを盛り付けて巻いた後、4等分に切り分けました。完成した巻き寿司の断面はバラの花の絵柄になりました。

参加者は「想像以上に断面がきれいで食べるのがもったいなく感じる。家でも作り、家族に見せたい」と話しました。



デコ巻き寿司を作った参加者

苗の植え付け頑張ったよ!

～さつまいも名人認定証授与式～

2月16日、平川市の日の出こども園でさつまいも名人認定証授与式を開きました。同こども園の園児は、昨年5月に尾上基幹支店管内にあるわんぱく農園でさつまいも苗の植え付けをしました。秋に予定していた収穫体験は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から中止となりましたが、園児の頑張りを称えるため認定証授与式を開きました。

佐藤佳克常務が代表の園児に認定証を渡し、認定証を受け取った園児は「ありがとうございます」と元気にお礼をしました。



認定証を受け取った園児（左）

満点で最優秀賞

～第16回青森県JA農産物検査員鑑定競技大会～

JA全農あおもりと県JA農産物検査協議会が2月5日に開いた「第16回青森県JA農産物検査員鑑定競技大会」で、南米穀センターの白瀬鉄信係長が最優秀賞を受賞しました。

大会には県内のJAから25人が参加し、35点のうち玄米と5点の水稲もち玄米を30分以内で等級判定。400点の持ち点から等級相違と時間超過による減点方式で採点され、白瀬係長は400点満点を獲得しました。

16日には本店で表彰式を開き、山内敏組組合長が白瀬係長に表彰状とトロフィーを渡しました。

白瀬係長は「最優秀賞を受賞することができ、検査員として嬉しい限り。今回の受賞を励みに、今後も鑑定技術を高めていきたい」と話しました。



最優秀賞を受賞した白瀬係長（左）